

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(1)	マルベリーの理念はあるが、「グループホームマルベリー独自の理念」が無い。	グループホームマルベリー独自の理念を作り、職員全員で共有を図る。掲げるだけでなく、職員・ご利用者・ご家族または地域の方々にも理念が浸透するような働きかけを実施。	現在、目標に向けて職員全員で理念を作っている。各部署で職員が話しあい、管理者や法人代表者とも検討する。目標設定をしたように浸透するよう日常の声掛けや、地域への働きかけを実施。浸透していく期間を12ヶ月と設定する。	2ヶ月 ～12ヶ月
2	(13)	災害時の避難マニュアルの整備が充分でない。	様々な、火事や地震時等の災害を想定したマニュアルを整備し、それに基づく訓練を実施する。地域との連携を強化し、災害時にどれだけの協力がお互い出来るかを設定する。	地震体験や災害時の想定研修を受け各種情報を収集している。地域の防災リーダー会議に参加。地域防災リーダーとも連携を図りマニュアル作りを行う。管理者はじめ、防火管理者が中心となり全職員の意見を取り入れ災害時マニュアルを作成。	12ヶ月
3	(5)	グループホーム利用者の外出時等は、すぐに解錠をしているが、通常出入り口の施錠をしている。	安全面に配慮しながら、時間帯を区切って解錠時間を設けていく。	ご利用者の生活や職員の業務が一定落ち着いている時間帯を検討し、まず1～2時間の解錠を目指す。安全面を第一に考え自由に出入り(職員の付き添いは必要)出来る時間帯を設ける。ご利用者・ご家族の理解も必要な為期間を12ヶ月とする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。